

# 2024 年度事業報告書

【2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで】



チア!アート  
CHEER!ART

## トップメッセージ

医療や福祉の現場を人の生きる力を引き出せるような環境にしたい。

そんな思いから、2017年7月にチア・アートは、歩み出しました。

8期目である2024年度は、1) 医療施設等における環境改善事業として、病院、クリニック、医療相談所において、アート&デザインプロジェクトに取り組んだ一年でした。継続的なアート&デザインプロジェクトのアートコーディネートを担う筑波大学附属病院では、会議運営や活動支援に加え、学会にて実践報告をし、筑波メディカルセンター病院では、集中治療室の家族控室の改修を行い、なんでも相談できる医療相談所「はなそう -HANASOW-」では、場の使われ方の変化に合わせてリーフレット作成の支援や新たな家具を検討し、南越谷内科クリニックでは、待合室を改修、そして松下記念病院では、院内のサインを検討するワークショップを企画しました。2) 療養環境を支援する製品等の開発・販売事業は、実施しませんでした。3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業では、引き続きチア！ゼミの開催と講演等へ登壇しました。

これからも医療福祉施設、企業の方々、患者さんや利用者の皆さん、地域の方々と一緒に、医療や福祉におけるより良い環境のあり方について考え、アート・デザインの実践に取り組んで参りますので、継続的なお力添えを心よりお願い申し上げます。

2025年7月

特定非営利活動法人 チア・アート

理事長 貝島桃代

# 1 事業の成果

2024年度は、8期目の活動を4月に開始させ、2024年6月13日に通常総会を行いました。事業として取り組んだ主な活動を報告いたします。

## 2 事業の内容

### (1) 医療施設等における環境改善事業

#### ① 筑波大学附属病院アート&デザインプロジェクト アートコーディネート

筑波大学附属病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート&デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2024年度は、1)「病院のアートを育てる会議」の運営、2)作品展示(洋画、写真、立体造形、書など)の継続・更新、3)アートワークショップの支援、4)アートミーツケア学会での実践報告、5)小児の療養環境における支援ツール開発、6)病院部局が主体で行う事業へのアート分野に関する協力・支援を行いました。

- 実施期間：2024年4月～2025年3月
- 事業主体：国立大学法人筑波大学附属病院（茨城県つくば市）
- 協働：病院のアートを育てる会議  
(筑波大学附属病院、筑波大学芸術系教員、筑波大学 adp 学生チーム アスパラガスほか学生)
- アートコーディネート：筑波大学附属病院(アートコーディネーター 松崎仰生)、チア・アート(櫻村宙子)
- ウェブサイト：<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/artdesign/>



けやき棟 -B 棟 2 階での書展示『書の散歩みち』／筑波大学書領域学生有志、コーディネート：松崎仰生、チア・アート(櫻村宙子)



B 棟 5 階 NICU (新生児集中治療室)・GCU (新生児回復室) 家族控室へのアート設置／企画・展示：筑波大学 adp 学生チーム アスパラガス(指導教員：山田協太)、コーディネート：松崎仰生、チア・アート(櫻村宙子)

## ② 筑波メディカルセンター病院アート&デザインプロジェクト アートコーディネート

病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート・デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2024年度は、5年ぶりに学生と病院職員との交流会「アートカフェ」を開催。学生が院内マップに病院職員から挙がった院内の気になる場所や解決したい課題などを書き込みながら、よりよい療養環境に向けたアイデアを出し合いました。加えて PCU（緩和ケア病棟）家族控室改修プロジェクトにおけるクラウドファンディングの余剰金を活用し、学生チームとともに ICU（集中治療室）家族控室の改修を行いました。患者家族や当該病棟職員へのヒアリングを踏まえ、長時間待機するための部屋、面会待ちをする部屋を柔らかい空間にデザインし、ソファ席やテーブル席、カウンター、腰掛け手すりなど、利用者が多様な過ごし方を選択できる環境になりました。

- 実施期間：2024年4月～2025年3月
- 事業主体：公益財団法人筑波メディカルセンター（茨城県つくば市）
- 協働：筑波メディカルセンター 経営企画課 広報係、広報委員会ほか、筑波大学芸術系教員、筑波大学 adp 学生チーム パブリカほか
- アートコーディネート：チア・アート（菅原楓、園家悠司）
- ウェブサイト：<https://www.tmch.or.jp/effort/art.html>
- プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000070192.html>



ICU（集中治療室）家族控室の改修プロジェクト／デザインマネジメント：チア・アート（井本雅乃・菅原楓・園家悠司）、デザイン：筑波大学 adp 学生チーム パブリカ（指導教員：岩田祐佳梨）、製作・施工：三井物産フォーサイト株式会社



アートカフェ「ゆるっとカフェ」  
主催：筑波メディカルセンター病院  
企画：チア・アート（菅原楓、園家悠司）  
協働：筑波大学 adp 学生チームパブリカほか

### ③ なんでも相談できる医療相談所「はなそう－HANASOW－」

#### アートディレクション・アートコーディネート

産業保健事務所として地域の法人を支える機能を持ちながら、医療をとりまくことや病院では話しにくいことなど、なんでも相談できる医療相談所「はなそう」のアートディレクションおよびコーディネートに携わり、1)リーフレット類の制作におけるコーディネート、2)日々のしつらえの整備、3)家具の検討および設計を行いました。

- 実施期間：2024年4月～2025年3月
- 事業主体：合同会社メビウスメディカル なんでも相談できる医療相談所「はなそう」（茨城県水戸市）
- アートコーディネート：チア・アート（松崎仰生、園家悠司）
- ウェブサイト：<https://hanasow.com/>



はなそうリーフレット／デザイン：TURBAN（根本美保子、田中至）、アートディレクション：高嶋結、コーディネート：チア・アート（松崎仰生）



はなそうのしつらえ検討／アートコーディネート：チア・アート（松崎仰生、園家悠司）

#### ④ 南越谷内科クリニック 待合室改修プロジェクト

高齢者層の比率が増えている集合住宅群の中にあるクリニックにおいて、住民参加の催しなど「地域ケア」の実践の場としても活用できる待合スペースの改修を行いました。高齢者の利用を念頭に計画の主軸となる置き型の造作ソファはヒノキ材を採用したことにより、軽量でありながら強度もあり、見た目にも温かく柔らかい印象を得られました。またイベント時の利用しやすさを考慮し、様々な配置の組み替えができるデザインにしました。加えて、窓辺の長いカウンターは院長宅に眠っていたトチの木のテーブルを製材し直し、クリニックの新たな居場所として再生しました。

- 実施期間：2024年4月～2025年5月
- 事業主体：医療法人南越谷内科クリニック（埼玉県越谷市）
- 設計：チア・アート（岩田祐佳梨、園家悠司）
- 施工：株式会社家具の八木沢、浅古建設株式会社



## ⑤ 松下記念病院 院内サインを考えるワークショップ

数年後の病棟建て替えに向けて、新規病院施設におけるアートを取り入れた環境づくりに関するアドバイザーとしてお声がけをいただきました。その前段階として本年度は既存病院施設で定期的に行われている市民公開講座の中で「院内サインを考えるワークショップ」を行うことになりました。地域住民と病院職員とともに院内のサイン計画について診察ルートのはっきりやすさ・視認性・利用状況の確認などを、グループに分かれてラウンドし発表し合う会を実施しました。また後日、チア・アートによる分析結果を作成し、今後のプロジェクトの展開について提案しました。

- 実施期間：2024年6月～2024年8月
- 主催：パナソニック健康保険組合松下記念病院：(大阪府守口市)
- 企画：チア・アート（岩田祐佳梨、園家悠司）



## (2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業

今年度は実施しませんでした。

## (3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業

### ① 医療とアートを考える勉強会「チア！ゼミ」

チア！ゼミは、医療福祉従事者、クリエイター、地域の人々、患者さんやその家族、学生などさまざまな背景をもつ人たちが集まり、参加者同士の対話によって、医療や福祉におけるアート・デザインの考えを深める勉強会です。実践者や当事者の方による話題提供後、参加者同士で対話しながら、異なる視点や考えを共有します。今年度は、貝島桃代理事長、小山慎一理事、アートコーディネーターによって話題提供をした3回の特別編の実施に加え、小堀幸子さん（北水会広報担当、NPO 法人ちいきの学校デザイン室担当）をゲストに迎え、地域と福祉の関わりについて考えました。

チア！ゼミ特別編「ケアと建築のふるまい学」

- 話題提供者：貝島桃代（チア・アート理事長）
- 実施日：2024年8月20日
- 場所：対面（co-en）およびオンライン（zoom）併用
- 参加者：医療・福祉関係者、アート関係者、学生など38名



チア！ゼミ特別編「特別支援学校での共創アートワークショップ『みんなでつくろう！千人おどり』キッズデザイン賞キッズデザイン協議会会長賞受賞報告会」

- 話題提供者：チア・アート（松崎仰生）
- 実施日：2024年11月15日
- 場所：オンライン（zoom）
- 参加者：医療・福祉関係者、アート関係者、学生など18名



チア！ゼミ特別編「病院におけるニューロダイバーシティの問題を考える」

- 話題提供者：小山慎一（チア・アート理事）
- 実施日：2025年1月20日
- 場所：オンライン（zoom）
- 参加者：医療・福祉関係者、アート関係者、学生など22名



チア！ゼミ #12「地域と、福祉と、アートで、人と、知をつなぐ」

- 話題提供者：小堀幸子さん（北水会広報担当、NPO 法人ちいきの学校デザイン室担当）
- 実施日：2025年2月24日
- 場所：オンライン（zoom）
- 参加者：医療・福祉関係者、アート関係者、学生など22名



### ③ その他、講演など

2024 年度は、障害者芸術文化活動普及支援事業における講演、日本文教出版の Youtube チャンネルへの出演、アートミーツケア学会での実践報告のほか、キッズデザイン賞キッズデザイン協議会会長賞、いばらきデザインセレクションソーシャルデザイン部門シリーズ選定、医美同源デザインアワード「入院生活を豊かにするデザイン」優秀賞を受賞しました。

#### 講演

- ・岩田祐佳梨：「いまここで起きている」シンポジウム登壇（水戸市民会館）,NPO 法人エイブル・アート・ジャパン（障害者芸術文化活動支援センター 南東北・北関東ブロック広域センター, 令和6年度障害者芸術文化活動普及支援事業）,2025.1.12

#### メディア

- ・岩田祐佳梨：「アートが病院を変える」,日本文教出版,中学校美術の先生応援サイト「つながる美術」YouTube 出演,2024.7.25 公開
- ・「共創アートで奨励賞 NPO と下妻特別支援校」,茨城新聞,2024.10.9

#### 学会発表

- ・松崎仰生・篠崎まゆみ（筑波大学附属病院）、小山慎一・村上史明（筑波大学芸術系）、櫻村宙子・佐藤恵美（特定非営利活動法人チア・アート）、岩田祐佳梨（筑波大学芸術系、特定非営利活動法人チア・アート）：実践報告「筑波大学附属病院におけるアート&デザイン活動の整理とその課題」,アートミーツケア学会 2024 「ケアのなかにあるアート?」（九州大学大橋キャンパス）,2024.12.15

#### 受賞

- ・特別支援学校での共創アートワークショップ「みんなでつくろう！千人おどり」：第18回キッズデザイン賞キッズデザイン協議会会長賞
- ・筑波メディカルセンター病院「患者家族相談支援センター」：いばらきデザインセレクション 2024 ソーシャルデザイン部門シリーズ選定
- ・ICU 家族控室改修プロジェクト：第10回医美同源デザインアワード「入院生活を豊かにするデザイン」優秀賞

#### プレスリリース

- ・「特別支援学校との共創アートワークショップが、『第18回キッズデザイン賞』にて『キッズデザイン協議会会長賞』を受賞」, 2024.9.18 (<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000002.000148390.html>)

# チア・アートへのご支援 ありがとうございます

(2024年4月1日～2025年3月31日決算)

経常収益 (単位千円)

会費	259
寄付	0
補助金/助成金	0
事業収益	6,504
その他収益	0.8
合計	6,764

経常支出 (単位千円)

事業費	575
管理費	7,593
合計	8,168

## 2024年度 特定非営利活動法人チア・アート 役員

理事長 貝島 桃代 / スイス連邦工科大学チューリッヒ校 教授

副理事長 岩田 祐佳梨 / 筑波大学芸術系 准教授

理事 平松 祐司 / 筑波大学附属病院 病院長

河野 元嗣 / 筑波メディカルセンター病院 病院長

蓮見 孝 / 筑波大学名誉教授

田中 佐代子 / 筑波大学芸術系長 教授

小山 慎一 / 筑波大学芸術系 教授

白川 洋子 / 茨城県看護協会 会長

監事 山中 敏正 / 筑波大学教育推進部 特命教授